別添７

反射材用品等着用促進運動
～　外出は　明るい笑顔と　反射材　～

１　目的

歩行者事故と自転車事故の多くが夕暮れ時に発生しているほか、日の入り時刻が早くなる冬季には夜間の歩行者事故が多発する傾向にあることから、夕暮れ時から夜間帯における交通事故防止に効果の高い反射材用品等の普及啓発を推進し、反射材用品等の着用を全ての年齢層に広げることにより、歩行者及び自転車の事故防止を図る。

２　運動の重点

（１）歩行者、自転車利用者の反射材用品等の着用促進
（２）反射材用品、ＬＥＤライト、明るい目立つ色の衣服等の視覚効果等の周知





３　実施事項

歩行者・自転車利用者は

（１）歩行者は、夕暮れ時や夜間に外出する際、運転者から発見されやすい明るい目立つ色の衣服の着用を心掛けるとともに、衣服や靴、カバン等の身の回り品への反射材用品の着用や、ＬＥＤライトの携行を励行しましょう。
（２）自転車利用者は、早めにライトを点灯し、夕暮れ時や夜間に運転する際は明るい目立つ色の衣服の着用を心掛けるとともに、車体に反射材用品を取り付けましょう。

学校等では

（１）反射材用品を着用した場合、どのように見えるのかを確認させ、反射材用品の着用の必要性や効果について指導し、外出時は確実に着用することを習慣付けましょう。
（２）反射材用品を着用している場合でも、道路を横断する際は、油断せずに必ず安全確認することを教えましょう。
（３）制服や運動着等に反射材が使用されたものを採用しましょう。

地域・家庭では

夜間の外出時における明るい目立つ色の衣服や反射材用品・ＬＥＤライトの着用等、運転者から発見されやすくなる工夫や、「自分の身は自分で守る」ことについて話し合いましょう。

職域では

職場で開催する交通安全講習会や各種行事等の機会を捉え、反射材用品等の視覚効果を広報啓発し、職場総ぐるみで反射材用品等の着用を励行しましょう。

自治体・関係機関・団体では

（１）テレビ、ラジオ、新聞、機関紙(誌)、ホームページ及びＳＮＳ等の各種広報媒体を活用し、本運動の広報啓発を推進しましょう。
（２）反射材用品の視覚効果、使用方法等について理解を深めるため、各種交通安全運動、反射材用品の視覚効果体感型のキャンペーン、各種イベント等を通じた広報啓発を推進しましょう。
（３）高齢者世帯訪問など、高齢者と接する機会等を利用して、反射材用品等の着用を習慣化する交通安全指導を推進しましょう。
（４）衣服や靴、カバン等の身の回り品への反射材用品の着用を推奨するとともに、適切な反射性能を有する反射材用品等の情報提供に努めましょう。



